

Queer&Allyで協力させていただいた  
箇所を抜粋しています。  
※大正大学様の掲載許諾を得ています。

2020年  
大正大学 表現学部 表現文化学科  
エンターテインメントビジネスコース  
3年 外川智恵ゼミ

# 0プロに関するご報告

※0プロ=0円プロジェクト(お金をかけずに社会貢献をする)

拝啓

貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素より、格別のご高配を賜り、誠にありがとうございます。  
でございます。

さて、0円プロジェクトの研究に際しまして、並々ならぬお力添えを賜り誠にありがとうございました。

おかげ様を持ちまして、この度の研究を発表した学内プレゼンテーション大会において最優秀賞を受賞することができました。これもひとえに、貴社のお力添えがあったことと、深く感謝いたします。

以下、この度、2019年度に発生いたしました0円プロジェクトについての経緯を、以下の通りご報告させていただきます。

敬具

# 記

【研究動機】	3
1. テーマを「性的マイノリティへの理解を深めること」に決定	3
2. 企画目的を「パートナーシップ制度・条例の周知」に決定	3
【テーマ】	4
目的	4
【現状】	4
①LGBTの現状	4
①-1 LGBTとは	4
①-2 当事者(性的マイノリティ)	6
①-3 「LGBT」の認知度	6
①-4 性的マイノリティの社会的な受け入れ(日本とアメリカの比較)	8
《日本》	8
《海外:アメリカ》	9
②パートナーシップ制度の経緯と現状	11
②-1 経緯	11
②-2 現状	11
③同性婚、LGBT への世論	12
《日本》	12
《海外:アメリカ》	13
【実態調査】	15
①豊島区役所への調査	15
②当事者へのヒアリング	18
③意識調査アンケート	23
③-1 アンケート趣旨	23
③-3 アンケート結果	25
【企画内容】	41
①メディアサイトの作成	41
②地図	44
③カレンダー	44
【実行内容】	46
①ラジオ出演	46
〈出演動機〉	46
②豊島区への調査報告	46
③大手通信会社への企画提案(p40)	46
【活動まとめ】	47
【年間活動スケジュール】	47
【学内プレゼンテーションフィードバック】	48
【参考文献】	48

## Queer & Ally とは

誰もが Queer(変わり者)であり、Ally(LGBT 問題の理解者)であるという多様性を認め合える社会を目指し、LGBTs と Ally の居場所づくりや理解促進のための活動を行う団体である。活動内容は主に交流会・ダイアログ(対話)の会を重視しているため、イベントに参加することで当事者や Ally の方々と直接会話することが可能であった。

## 【団体経緯】

- 2012.03 個人として LGBT についての講演やスピーチ活動を行う
- 2012.09 協力してくださる方とイベントや交流会を開催する
- 2012.12 任意団体としての団体名を「Queer&Ally」に決める
- 2014.10 「NPO 法人 日本性の健康協会(JASH)」の会員として活動を始める
- 2017.04 「NPO 法人 日本性の健康協会(JASH)」の LGBTs 部門・交流会部門として統合される

## 【ヒアリング結果まとめ】

他の団体が行っているイベントなどは対象が LGBT だけというものが多く、Ally の人が参加しづらいものが多いが、Queer & Ally の行うイベント※「ことこと」のコンセプトは「LGBT はもちろん、そうではない Ally の人もそうでない人も、年齢関係なくお話をしましょう。」であり、対話の場の提供をおこなっていた。取材によって、パートナーシップ制度に関しては、Queer & Ally の方々もあまり中身を理解しておらず、周知の必要性を感じた。また、私たちが企画している、イベントなどをまとめたサイトは以前あったがあまり利用されておらず、運営終了しているものもあることがわかった。トイレに関してはどちらのトイレも利用できないので誰でもトイレを使うが、トイレの数が少なく時間がかかってしまうなど、現在抱えている問題も知ることができた。

※ことこと＝土曜日昼間にケーキを食べながらお話をするイベント。LGBTQ についてまた Ally とは？について考える。

以下、ヒアリング内容一覧

## 〈お話を聞かせていただいた方〉

- ・はるさん…NPO 法人※JASH 日本性の健康協会 代表理事。Queer&Ally 代表。LGBT の方々だけでなく Ally の人も関係なく話せる場を作りたいという想いから活動。  
※JASH とは性の健康について扱っている団体
- ・りょうたさん…FtM(女性から男性へ) 卵巣的移出手術を受けている。男性ホルモン注射をしている。職場でもオープンにしている。
- ・りょうさん…MtF(男性から女性へ) 戸籍上は男性
- ・うらさわさん…Ally ブコネクト 性暴力関係

## 〈取材内容〉

### ◎活動内容は？

#### ・イベント

→「LGBT はもちろんそうではない Ally の人もそうでない人も、年齢関係なくお話をしましょう。」というコンセプト。

→また職場内での問題についても一緒に考えていくイベント。困りごとに対して事例を考えていく。職場とセクシュアリティというテーマでは社労士の相談、法律の解説も！

### ◎イベントの現状は？

Ally について考える＝Ally を知りたいと言って話を聞きに来る。また 95%の人が LGBT について理解する必要性を感じているが、知る機会がなく、Ally の人よりも当事者中心の会が多いため、Ally の人が参加しづらい状況になってしまっている。ことことでは対話の場づくりを意識。

(例)船橋でのイベントも開催。→ことこと、Ally について考える(交互に)

(例)大学に講演会、中学校などでも(2時間ほど主に千葉県)→JASH

(例)JASHの活動で学校に性の教育をしに行ったりする、主に千葉の高校、中学。1~2時間ほど(りょうたさん)

### ◎広報はどのように行っていますか？

・FaceBook や Twitter などの SNS での宣伝。

→Twitter は本名じゃなくても宣伝できる利点。また FaceBook よりもユーザーが多いイメージ。

・こくちーずなどでイベント登録して宣伝

→遠方からの参加者増(千葉、神奈川、栃木、山梨など)今では日程を載せると同時に予約がたくさん来る(新規のユーザー→「LGBT イベント 交流会」などで検索した際にヒット?)

・拠点は池袋だが様々な地域からきている

・池袋周辺の大学との連携がまだ未発展→今後の課題

・団体として横のつながりはあまりないが、参加者のなかではことごと以外に参加している人もいるためその中で情報交換を行っている。

・もともと別のイベントに参加していた。そこで出会った方に教えてもらい今に至る。居心地がいい。(りょうたさん)

### ◎イベントごとに雰囲気は異なる？

人数の違いや話し合いのような形式で交流。

### ◎LGBT イベント参加者の中での情報共有は頻繁ですか？

はるさん→そこまでしない。自分で調べて参加していた。新しい団体はなくなってしまふことが多いからこういうところもあるよって Facebook で宣伝。

りょうたさん→船橋は最初人が集まらなかった。そこで池袋のイベントに来てくれた人に船橋でもやっていることを伝え広めていった。

### ◎レビューサイトってあるの？

・RainbowLife(評価サイト)2016年くらいから運営。でも使っている人はあまり聞かない。

### ◎LGBT 関連のイベントや飲食店のレビューサイトやアプリがあったら利用したいと思いますか？

・自分の行っているイベントなどが悪く言われていたらいやだ、匿名の怖さ(りょうたさん)

・Rainbow Life がレビューサイトになっている(はるさん)

・レビューという評価よりもイベントや飲食店の雰囲気や形式が分かるものがあれば○

(例)4人くらいのグループでやっている。時には15人で輪になって話すことも

### ◎施設ごとのマップやイベント、雰囲気がまとめられているアプリがあったらどうですか？

・マップ→LGBT フレンドリーマップ(設備の情報)虹色ダイバーシティ(大阪でのクラウドファンディング)=運営終了

### ◎情報共有や出会いなど、何か利用しているサービスはありますか？

・りょうたさん→出会い系はやっていたけどあまり好きではなかった。レズビアンの人と出会えるもの。りょうたさんが当時使っていたものはサービス終了。ほかにも似たようなアプリは存在。

・りょうたさん→今の状態で今のところ満足している。また出会いが欲しいとなったときは、マッチングアプリやこくちーずで別のイベントにも参加してみたい。

### ◎アプリでほしい機能は？

案:パートナーシップ制度を利用できる市区町村をマップで表示できる。イベントカレンダー(ゼミ案)

- ・りょうたさん→ネットは騙されたら怖い、イベントのほうが好き。イベントの雰囲気分かるもので新聞のような記事、体験記のようなものがあればいいかも。一言メッセージなど。ことことも参加者のひとことを付箋に書いてもらって Twitter で公開している。参加者が行ってみてどう思ったか、生の声があると○(実際にどんな感じだったかなど)
- ・同棲の際などに、パートナーシップ制度を使える場所がわかりやすいのはいいかも。
- ・りょうさん→ここのお店は LGBT にフリーなお店だというのが分かるといいかも。さらに具体的にどこがフリーなのか。お手洗いが使いやすいなどわかりやすければ。
- ・りょうたさん→Google でお店を調べると LGBT フリーなお店とか出てくるけど具体的に何がフリーなのかわからない。
- ・はるさん→当事者の方がラーメン屋を開店。またレインボーパレードにも出店。
- ・お手洗い問題→対応しているお店かどうか確認してみないといけな。狭い店だと1つのところが多い。女性お手洗いが多く多い。行き当たりばったりなことが多い。どちらでもいいよというお手洗いだと○
- ・FtM の悩み→男性ホルモンを取り入れることで生理が止まる人と止まらない人がいる。生理になってしまった場合、実際に男性お手洗いにゴミ箱がないことで捨てることができず不便になってしまう事例があるそう。見た目が男だけど生理のごみを捨てるために入らなくてはならない。
- ・男性お手洗いは洋式が少ないため困る。
- ・どちらにも入れずだれでもトイレを利用するがあくまでに時間がかかってしまう。
- ・トランスジェンダー向けのお手洗いがあってもそれはそれで。

### ◎パートナーシップ制度を知っていますか？

- りょうたさん、りょうさん→あまり知らない
- はるさん→知っている

### ◎憲法 両性の合意の下で→両者へ変更？

- ・解釈の違いで、両性といっても男女だけとは限らないのでは？ただ時代が移り変わったことで両者という意味ならば解釈の違いは出てこないのではないのか。

### ◎パートナーシップ制度を利用したい？

- ・りょうさん→あまり使いたいとは思わない。でも少しでも利益があるのならと思う。興味はある。
- ・はるさん→二人の関係を区が認めてくれるという点○ 高い。
- ・りょうたさん→パートナーの方もトランスジェンダー。結婚とは？となっている。

### ◎パートナーシップ制度を周知すべき？

- ・利用できる場所が増えたらな。当事者意識
- ・中身を充実の前に周知が先。

### ◎知っていてほしいこと

- ・FtM の世間のイメージはオラオラ。でもそんなことないってことを知ってほしい。いろんな人がいる。
- ・女性になりたい自分もいるけど、そこは違うなと感じることもある。ステレオタイプがすべてじゃない。
- ・トランスで同性愛の人もいて、世間のイメージと違う自分に戸惑って悩みになってしまう。

### ◎パートナーシップ制度は必要だと思いますか？

- ・同性婚ができないならせめてパートナーシップ制度ぐらいさせてよ。
- ・同性愛者だとカミングアウトしたことで「結婚はいつするの？」と言われなくなったのに同性婚が認められるとまたその悩みが出てくることもある。
- ・あって使わないのとなくて使えないのは違う。使うか使わないかは個人の自由。
- ・広まってから使いたい。

### **◎最後の主張**

はるさん→イベントおいで。興味がある人は、いろんなことを話せる場なのでぜひ！  
りょうたさん→イベントに来ることでいろいろなことを知れたりするので来てね。  
りょうたさん→メイク教えて！